



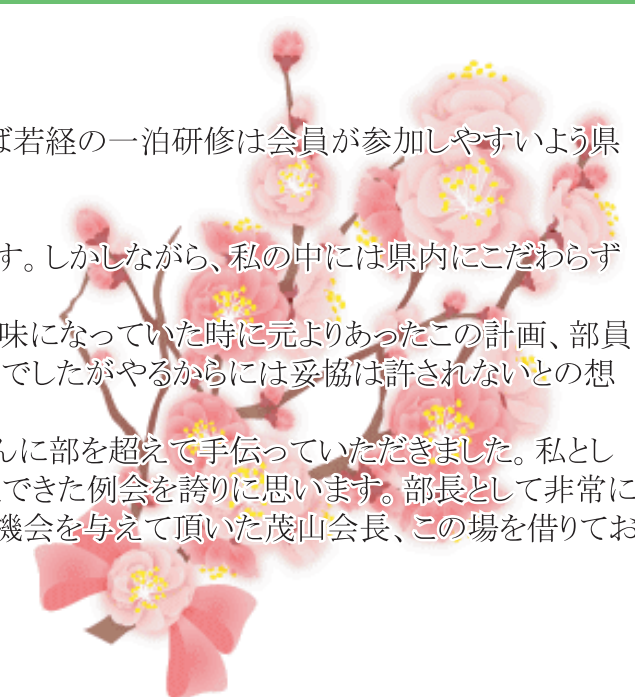
若経修学旅行を終えて
教育部 原 洋司

今年度の教育部のスローガンは「続・漢気」このスローガンに恥ない一泊研修とは何か？そこからこのプロジェクトは始まりました。思えば若経の一泊研修は会員が参加しやすいよう県内で行うのが暗黙の了解、今まで私が知る限り、2度しか県外での開催はありませんでした。

私が何故、この高いハードルを超えてまで東京への一泊研修を企画したのか？そこには部長としての様々な葛藤がありました。当初、東京の一泊研修は初期段階から案としてありましたが、実は私も乗り気ではありませんでした、あまりにも計画が壮大過ぎたからです。しかしながら、私の中には県内にこだわらず何か今まで行ったことのないような一泊研修にしたいとの想いがありました。

転機が訪れたのは3月の部会でした、スキーツアーやビール工場見学など、様々な案が出しては役員会で否定され、やや自暴自棄気味になっていた時に元よりあったこの計画、部員はノリノリ、ビビっているのは部長だけ。それで部として漢気を掲げるわけ位にはいかないと思ひ決断しました。半ばヤケクソのような始まりでしたがやるからには妥協は許されないとの想いで走り続けた一泊研修、結果として皆さんの記憶に残る例会になったと思います。

今回、この例会を行うに当たって、移動の算段、懇親会の会場、国会見学の手配、靖国神社での自由行動など、本当に色々な会員さんに部を超えて手伝っていただきました。私としては若経で初めて飛行機に乗ったやら東京に行ったではなく、このようにたくさんの会員に心配してもらい、手伝っていただきそして実現できた例会を誇りに思います。部長として非常に幸せな体験をさせて頂いた例会でした。参加して頂いた会員さん、参加できなくても様々な形でサポートして頂いた会員さん、このような機会を与えて頂いた茂山会長、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。



9月例会 茶道教室～茶の湯に触れる～
教育部 原 洋司

私自身が経営者として欠けているもの考えた時、5つの事が思い浮かびました。それが今回、教育部で行う例会の原点です。その5つとは「体力」「教養」「健康」「趣味」「仲間」です。今回の9月例会ではその中の「教養」を取り上げました。

私自身、茶道は初体験で、素養はそこそこあるものの、教養はあまりありませんので非常に楽しみでした。ちなみに教養とは個人の人格に結びついた知識や行いのこと。これに関連した学問や芸術、および精神修養などの教育、文化的諸活動を含める場合もある。(ウィキペディアより)これは私含め多数の会員さんが必要なのではないかと深く感じ、例会とすることを決断しました。例会でいざ茶道を嗜んでみると日常では感じないような穏やかな感覚に襲われ、非常に感慨深いものがありました。古くは鎌倉時代から続く日本の歴史＝茶道なのだなど、日本に生まれてよかった、茶道の心得とは経営に非常に繋がるものがあるなど感じさせてくれる例会だったと思います。



家族会 木田英二

7月26日にキララビーチで行う予定でしたが、大雨・雷警報が出ていたので、急遽、開催場所を茂山製鋼原料で行いました。

会員25名・家族41名のさんかして頂きありがとうございました。

今回の事業は車エビの掴み取り、スイカ割り、バーベキューを楽しんで頂き、考えていたアトラクションが出しきれなかった事が残念でした。

子供たちは掴み取り等のイベントを楽しんでもらえたと思います。

準備、後かたづけを参加者が手伝って下さったおかげで段取りよく事業ができました。文化部一同、感謝しています。



6月例会 武道とトレーニング
教育部 原 洋司

まず年間で例会を開催するに当たって考えたことが「今までの教育部の概念を覆したい！」でした。教育部長として一発目の例会、私自身、教育という言葉とは無縁で、むしろアンチ教育という言葉が似合うタイプですので思い切って格闘技を計画いたしました。

今までも体を動かす例会は多々ありましたが、私が考えたのは経営者として本当に必要なものは何か？自分を追い込むことではないのか？ならばストレスを解消しながら追い込んでもらおうと空手を習われている部員の藤村さんに計画して頂き、型、ミット打ち、サーキットトレーニングとフルコースで体験できた例会を開催することが出来ました。とある会員さんには吐き気を催すほど没頭して頂きました。会員さんの新たな面の見れた、大変楽しい例会でした。



26年度 文化部5月担当例会 木田英二

5月14日 19時からシルバふれあいセンターで、講師にANA山口宇部空港所長 村上 知也氏を迎えての演題「山口宇部空港とANAの歩み」についてご講演していただきました。

地元空港があっても、なかなか空港や飛行機の事についてお話を聞く機会がないので文化部の担当例会に選びました。国内線41路線・国際線17路線、1日1000便ほどANAの飛行機は飛び回っていて羽田発着の便が増え空港もしれにともない対応しているということです。

飛行機やCAの制服の歴史、787についてやANAがおこなってるスポーツ選手の支援など、86枚のスライドを使ってご講演して頂き、大変貴重なお話を聞く事が出来ました。

関係ございませんが、講師と打ち合わせに初めて私は宇部空港の中に入り、まだ宇部空港から飛行機に乗った事はありませんが、近いうちに乗れる気がします。